

1 ————— 10 ————— 20 ————— 30 ————— 40 ————— 50 — 53

1 【一行アキ】

土木学会初代会長古市公威に関する研究*

【一行アキ】

A Study on Kimitake Furuichi - the First President of the Japan Society of Civil Engineers

5 【一行アキ】

四谷 太郎**

【一行アキ】

By Taro YOTSUYA

【一行アキ】

10 → 10行目までに題名、英文題目、著者名、英文著者名を
バランスよく配置して下さい。

Abstract (英文要旨)、または和文要旨 (概要)

(審査付論文は英文)

□□□□□
5字空き

□□□□□
5字空き

15

本欄は、12~20行目までの間で
①研究の背景・目的、②手法・内容、③結論の概要等を、
英文で100~250ワズ、和文で200~500字、に要約してご
記入下さい。また、両側を5字程度空けて下さい。

20

23

本文は、約20~23行目から、始める。

25

□□□
2~3字
空き

29

新しい章に移る場合は1行空ける

章--- 1 2 ..

節--- (1) (2) ..

項--- a) b) ..

25

【2段組みについて】

片側25字 真ん中に2~3字空ける
2頁目からは同様に、2段組みにて作成
(25字×51行×2段、文字9ポイント)

30

【引用について】

他の論文や著作からの引用については、字体を変える
などにより著者の表現と明確に区別すること。

例

①文章をそのまま引用する場合

引用文の前後を1行あけて、引用文を1字下げか
「 」などで囲む

35

【英文原稿の場合】

この見本に準じて下さい。
1段組も可とします。

②引用文を本文中に記述する場合

引用文を挿入する場合はそれを「 」などで囲む。
著者の表現で記述する場合は不要。

40

①②いずれの場合も、必ず引用箇所直後に ()
内で引用文献を記すか、または参考文献の表記方法
に従って引用箇所末に番号を付し、引用文献を示す
こと。

45

← 脚注は罫線以下に記載する

49 *keyword : 土木学会、古市公威、人物史

**正会員 工博 土木大学教授工学部土木工学科

51 (〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地)

1 本文 2 段組み 25□□□29

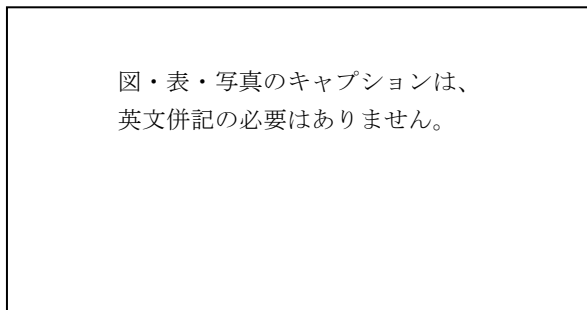
2
3
4

表—1 AとBとの関係
(Table.1 Relation Between A and B)

	A	B

[表のキャプションは、上に記載]

15



図・表・写真のキャプションは、
英文併記の必要はありません。

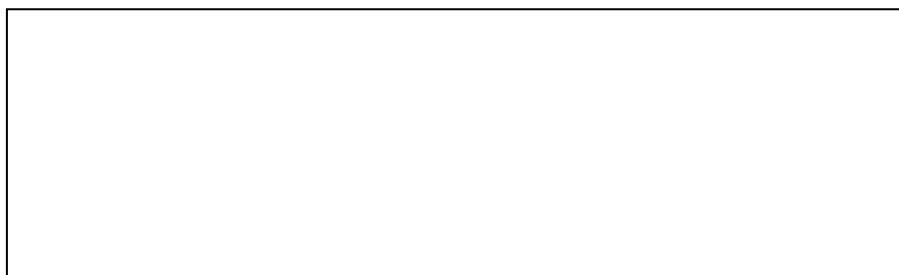
25 写真 1 四谷の地下空間 (撮影：〇〇、1992)
(Photo. 1 Underground Space in Yotuya)

[写真のキャプションは、下に記載]

27
28
29
30

図・表・写真は、片段に納めていただきますが、文字が小さくなる場合は、
全段を使用して下さい。(空きへの文字の組み込みは、原則としてさけて下さい)。

31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51



図—1 AとBとの関係 [図のキャプションは、下に記載]
(Fig. 1 Relation Between A and B)

【参考文献について】

参考にした文献は、引用順に番号をつけて本文末に
まとめて記載し¹⁾、文中にはその番号を右肩に示し
て²⁾、文末の文献と対応させてください。

参考文献

- 1) Lamb,H : Hydrodynamics,6th ed.,Cambridge Univ.Press, P.65, 1964.
- 2) Miles,J.W. : On the generation of surface waves by shear flows, J.Fluid Mech., Vol.3, Pt.2, pp.185~204, Aug.1957.
著者数が多い場合、第一著者に続いて、et al.と省略下さい。
- 3) 土木学会編 : 『ニューフロンティア地下空間』,技報堂出版, pp.9~15, 1990年.